

# 静岡銀行グループの経営資源

静岡銀行グループがこれまで地域で培ってきた強みを経営資源として、魅力ある地域社会、魅力ある静岡銀行グループへの持続的な成長を目指します

※注記のないものについては2021年3月末基準



## 健全な財務・収益基盤



- BIS自己資本比率 **16.56%**
- 格付(長期) **A1** (ムーディーズ)※  
**A-** (S&P)※ ※2021年7月1日現在

公共性の高い金融機関として、健全経営を基本に、邦銀の中では最高水準の自己資本比率と格付を維持しています。健全な財務を基盤として、リスクリターン最適化を追求し、中長期的な成長を目指します。



## 多様なプロ人財



- グループ従業員 **6,541**名
- 中小企業診断士 **64**名
- FP1級取得者 **295**名

課題解決型企業グループへの変革を実現するため、多様なプロ人財を育成しています。また、従業員一人ひとりが希望するキャリアプランの実現に向けて、能力開発制度の拡充に取り組んでいます。



財務資本  
Financial Capital



人的資本  
Human Capital



## 社会関係資本

Social and Relationship Capital



## 知的資本

Intellectual Capital



## 自然資本

Natural Capital



## お客さまとの豊富な接点、業種の垣根を超えた企業連携



- 静岡県内 **173** 拠点\*
- 県外 **32** 拠点\*
- TECH BEAT Shizuoka  
参加者数 **2万** 人(累計)

※2021年7月1日現在

いかなる時代にあっても変わらぬ安心、安全をお届けすることで、多くのお客さまから信頼をいただいています。

また、異業種連携などを通じ、最先端の技術やビジネスチャンスを地域へ呼び込んでいます。



## 地域に寄り添う 総合金融サービスの提供



- 連結子会社13社の経常利益合計 **100** 億円

お客さまのあらゆる課題に対し、グループ各社が専門性を発揮するとともに、一体となってソリューション(解決策)を提供しています。



## 地域の豊かな観光資源



- 移住したい都道府県 全国**1**位  
(2021年認定NPO法人ふるさと回帰支援センター調べ)
- 温泉利用者宿泊施設数 全国**1**位

自然環境、歴史や文化、首都圏とのアクセスの良さなど、静岡県の豊かな地域資源を活用し、観光産業やその周辺産業の発展を支援しています。

# 静岡銀行グループの価値創造プロセス

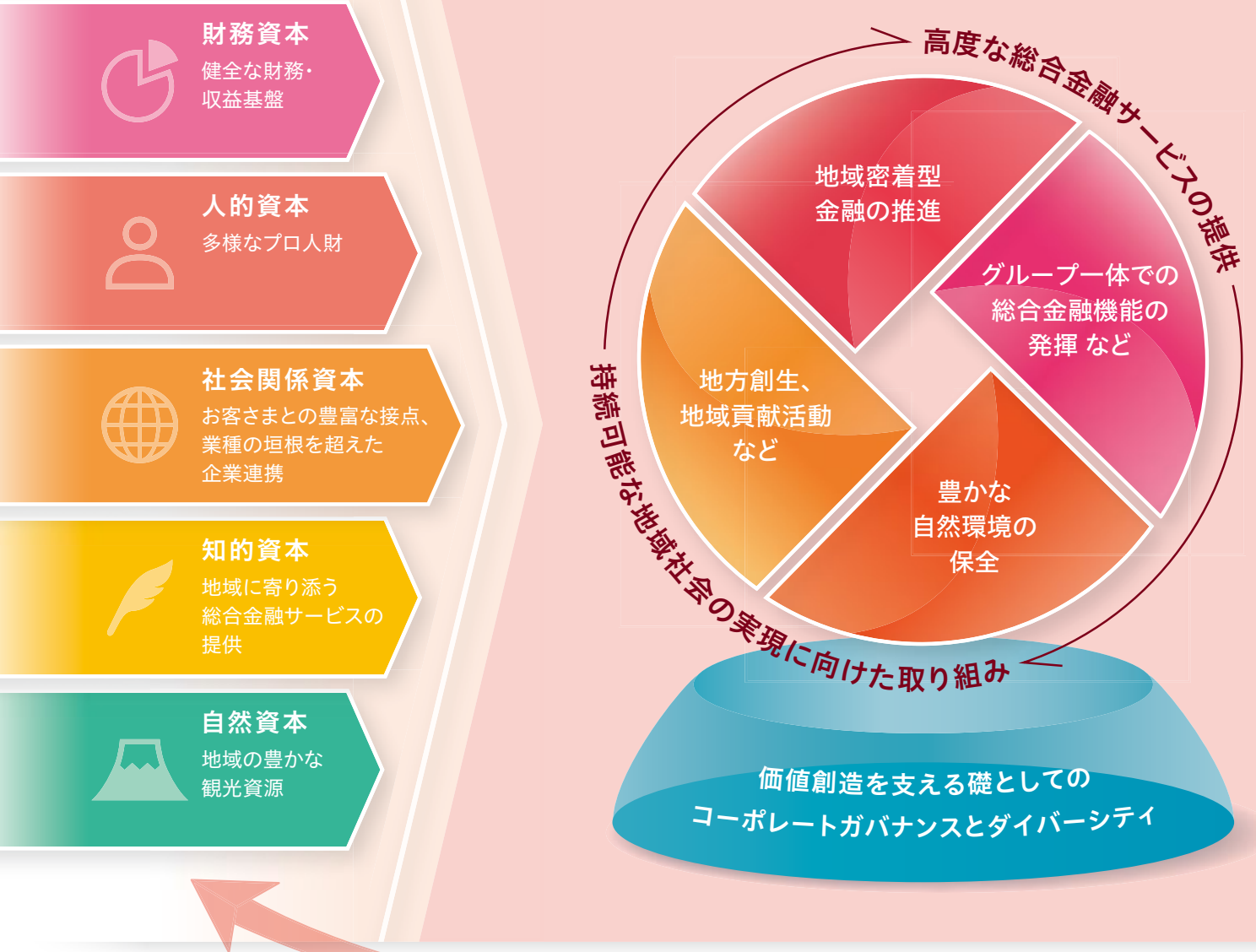
静岡銀行グループは、基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」のもと、  
静岡県を中心とする地域へ高度な総合金融サービスを提供し、  
持続可能な地域社会の実現に取り組んでいくことで、全てのステークホルダーへ多様な価値を提供しています。

基本理念 Corporate Philosophy 地域とともに夢と豊かさを広げます。

活用する資本 Input

企業活動 Activity

## 地域との共生による持続的成長の実現



提供する価値 Outcome

- 地域社会**
- 持続的な発展
  - 地域経済の活性化
  - 脱炭素社会の実現

- お客さま**
- 課題解決、最適なソリューション
  - 高い利便性
  - 揺るぎない信頼

- 株 主**
- 中長期的な企業価値向上
  - 非財務情報を含む、透明性の高い情報開示
  - 積極的な対話

- 従業員**
- 働きがい、成長の実感
  - 多様な働き方
  - ワークライフバランス

目指す姿 Vision



魅力ある地域

- 住みたくなる
- 働きたくなる
- 行ってみたくなる



魅力ある  
静岡銀行グループ

- 持続可能なビジネスモデル
- 従業員が地域や自社に誇りを感じる企業風土



# COLORs ~ 多彩 ~

名称に込めた想い

これまでの銀行中心の営業から脱却し、地域やお客さまの多様化するニーズに対して、グループ一体となってさまざまな角度からソリューションを提供する営業体制への変革を目指します。また、ダイバーシティやSDGsへの取り組みをより強化する想いも込めています。

3

カ年計画

## 第14次中期経営計画

グループビジョン

3年ビジョン

地域のお客さまの夢の実現に寄り添う  
課題解決型企業グループへの変革

第14次  
中期経営計画

COLORs  
~ 多彩 ~

ビジョン実現に向けた戦略展開

グループ機能発揮

基本戦略1

グループ営業戦略

新たな収益機会の追求

基本戦略2

イノベーション戦略

経営資源の最適な配賦

基本戦略3

ビジネス  
ポートフォリオ戦略

■目標とする指標(連結ベース)

		2022年度計画
収益性	経常利益	800億円以上
	ROE	5%以上
健全性	普通株式等TierI比率	14%以上
その他	OHR	55%程度
	株主還元	中長期的に50%以上

2020-2022

10年後の目指す姿

2030

地域から必要とされる企業グループへ

- ニーズの本質をとらえる力
- 高い課題解決力
- 経済的・社会的サステナビリティ

10年ビジョン

地域の未来にコミットし  
地域の成長をプロデュースする  
企業グループ

3年戦略

「10年ビジョン」で掲げる姿の  
実現に向け取り組む分野

10年戦略

グループ全体で多様なニーズに対応するほか、他の金融機関とも協力したお客さまの利便性向上、第13次中期経営計画における構造改革の完結に取り組みます

地域産業の創出

お客さまの行動変化に合わせたチャネルの刷新、グローバル市場の成長の取り込みなど、新たな視点でグループ全体の収益機会を追求します

地域の魅力向上

人的資源をグループ全体最適となるよう配賦するとともに、リスクとリターンを見極めながら将来のグループ収益を支える新たな取引・資産を積み上げます

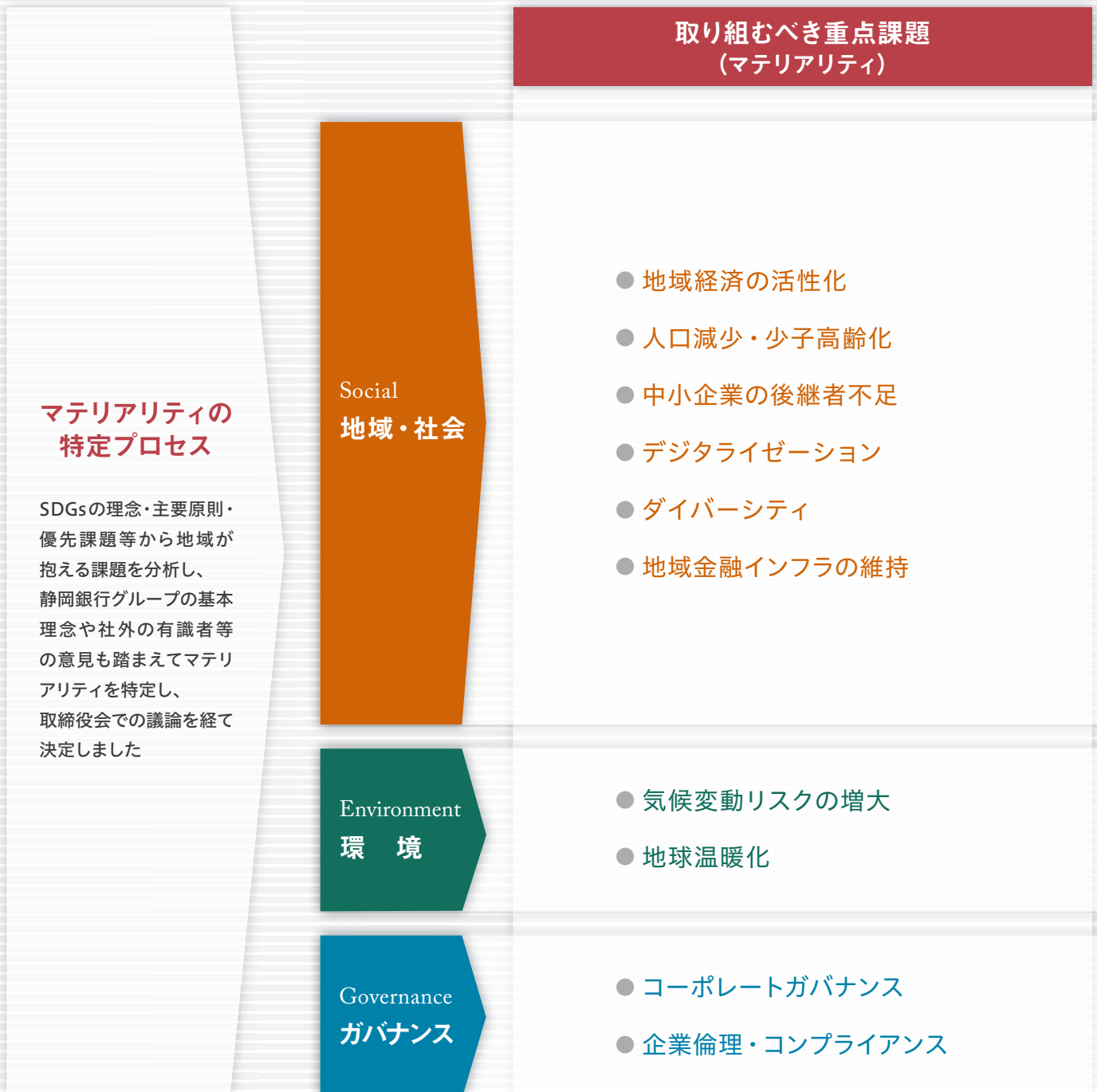
10年戦略

地域プロデュース  
戦略

地域の産業や経済の育成・成長への貢献をはじめ、SDGsや地域貢献の観点から、さまざまな課題の解決に向けた活動に中長期的に取り組めます

# サステナビリティ経営の実現

静岡銀行グループでは、第14次中期経営計画の策定にあたり、持続可能な社会の実現および企業価値の維持・向上に向け取り組むべき重点課題(マテリアリティ)を特定し、経営戦略に反映させています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (持続可能な開発目標)

2015年9月、国連サミットにおいて「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals : SDGs)」を全会一致で採択。先進国を含む国際社会全体の開発目標として、2030年までに達成を目指す17の目標と169のターゲットが設定されました。貧困や飢餓などの社会的課題や、環境、ジェンダー平等、エネルギー、労働環境等の問題の解決に向け、すべての国に適用される普遍的な目標であり、各国政府や市民社会、民間セクターを含む様々な主体が連携して取り組んでいくこととされています。

関連するSDGs



第14次中期経営計画での主な取り組み

基本戦略 1

- 静岡銀行グループの金融機能を通じた、お客さまの多様なニーズへの対応
- 事業承継・資産承継支援
- 金融ジェロントロジー (金融老年学) の概念を踏まえたサービス提供
- お客さまのニーズに応じた店舗機能の見直し

基本戦略 2

- デバイスフリーな金融サービス
- ベンチャー投資等を通じた技術革新

基本戦略 3

- 多様な働き方、女性活躍、人財の多様化、人権の尊重

10年戦略

- スタートアップ企業とのネットワーク等の地域への還元
- 地域プラットフォームを活用した地域の魅力向上

- 環境配慮型金融サービスの推進
- ESG投資やグリーンボンドの活用
- 気候変動への対応

- コーポレートガバナンスの高度化
- マネー・ローンダリングへの対策強化





# グループ一体での総合金融サービスの提供

## ■グループ会社のご紹介

高い専門性を持つグループ会社等16社（持分法適用関連会社3社を含む）が、地域のお客さまに総合金融サービスを提供しています



### TOPICS

#### ● 静銀ティーエム証券 「山梨本店」を新規オープン (2021年4月)

「静岡・山梨アライアンス」の一環として、山梨中央銀行本店内に「山梨本店」を開設しました。山梨中央銀行のお客さまに対して、静銀ティーエム証券の充実した商品・サービスを提供することで、幅広い資産運用ニーズにお応えします。

#### ● 静銀ITソリューション ITソリューション提供業務を開始 (2021年7月)

地域のお客さまの収益性・生産性向上に資するIT化・DX支援を目的として、ITソリューション提供業務を開始しました。

## IT関連業務

- 静銀ITソリューション

## 海外子会社

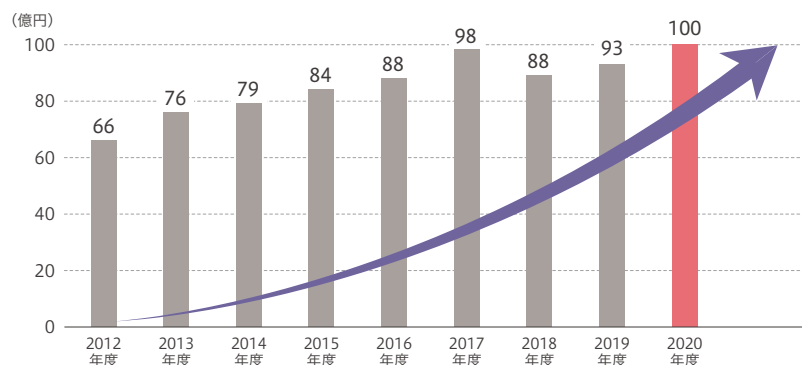
- 欧州静岡銀行
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited

## その他の持分法適用関連会社

- マネックスグループ
- コモンズ投信

## ■ グループ会社業績推移

銀行との連携を強化し、多様化するお客さまのニーズにお応えしてきた結果、連結子会社13社の経常利益の合計は地方銀行の中でトップ水準にあります。



## ■ グループ各社 (連結子会社13社) の業績 (2020年度)

(億円)

会社名	主要業務内容	経常利益	前年度比
静銀経営コンサルティング(株)	経営コンサルティング業務、代金回収業務	6	△1
静銀リース(株)	リース業務	15	△0
静銀ITソリューション(株)	コンピューター関連業務、計算受託業務	3	△0
静銀信用保証(株)	信用保証業務	35	+8
静銀ディーシーカード(株)	クレジットカード業務、信用保証業務	10	+1
静岡キャピタル(株)	株式公開支援業務、中小企業再生支援業務	3	△0
静銀ディーエム証券(株)	金融商品取引業務	27	+7
欧州静岡銀行	銀行業務、金融商品取引業務	△1	△1
Shizuoka Liquidity Reserve Ltd.	金銭債権の取得	1	△7
静銀総合サービス(株)	人事・総務・財務関連業務、有料職業紹介業務	0	+0
静銀モーゲージサービス(株)	銀行担保不動産の評価・調査業務、貸出に関する集中事務業務	1	△0
静銀ビジネスクリエイト(株)	為替送信・代金取立等の集中処理業務等	0	+0
しずぎんハートフル(株)	各種文書の作成・印刷・製本業務	0	+0
合計(13社)		100	+7

### ● 静岡キャピタル

#### ベンチャー支援・再生支援への取り組み

2020年4月、ベンチャー支援を目的に「静岡キャピタル8号投資事業有限責任組合」を設立し、2021年1月には、中小企業再生支援を目的とした「静岡中小企業支援6号投資事業有限責任組合」を設立しました。

### ● 静銀信用保証

#### 外部保証業務の取り組みを開始

静岡銀行の住関連ローンを中心とした保証業務以外の新たな事業領域の開拓を目指し、2018年7月にアルビ(株)、2021年1月にはauじぶん銀行(株)とそれぞれが提供する住宅ローンを保証する取り組みを開始しました。